

“デザインの心”レクチャー 2011

デザインニッポンの会では国内外のクリエイターを中心に日本におけるデザインの持つ役割を広く多くの人に、特にこれからデザイン活動に係る人たちに向けて、毎年デザイン・カンファレンスを企画しています。

デザインは日常の生活の中にあると私達DNAは考えています。

2011年は、幾つかの企業と共に“デザインの心”レクチャー実行委員会を組織して、国内外のデザイナーなどの講演を通してデザインが日常の中にあり、社会性・時代性を考慮したもの物であるという点をふまえて考えて、広く多くの方たちに”デザインの心“を考える企画をしています。

◆企画名称：“デザインの心”レクチャー

◆日程：2011年6月11日（土）

12:00~17:00 各1時間の講演

◆場所：オカムラショールーム 赤坂ホテルニューオータニ・ガーデンタワー2F

◆主催：実行委員会（NPOデザインニッポンの会、PRI）

◆協賛：（株）岡村製作所

協力：（株）竹中工務店、（株）エイチ・エー・デザイン、（株）丹青社、
YYPJ、Team F、バンタンデザイン研究所 他

◆対象：①一般のデザインに興味がある方

②メーカーや商品開発等に関わる企業の方

③デザイン関係の仕事に従事している方

④デザイン関係学校の先生・学生

◆講演者

12:00~13:00 岩佐倫太郎/プロデューサー

13:15~14:15 御堂誠二/美術家

14:30~15:30 川北英/建築家 竹中工務店プリンシパルアーキテクト

15:45~16:45 パネルディスカッション 講師3名+出原秀仁(丹青社)による

17:00~18:00 懇親会：講師を囲んで行います。

目的：

- ① 【一般向けカンファレンス】→デザイン意識の啓発（文化的側面）
- ② 【企業向けカンファレンス】→デザイナーと企業の機会創出（産業的側面）
- ③ 【各種デザイン関連学校・法人向けカンファレンス】→一流デザイナーの直接指導による意欲・機会の創出（文化的側面）

概要：デザイナーの考え方を学べるカンファレンス・イベントを各協力企業などと開催。
クリエイションが細分化されている現在において、各ジャンルの考え方をすることは世界がポータレス化/グローバル化して来ている現在、とても大切な事。
我々は、「デザイン」による生活の快適さを求めています。そのデザインの社会性・公共性はどのように市場に取り込まれているかを本講演会を通じて検証し、日本市場におけるこれからのデザインの在り方に役立てる事を目的としています。様々な分野の講師を国内外からお招きして講演して頂きます。自分達の文化を見つめる事がこれからのデザインの役割を考察する大切な助けとなります。それは他を知る事でもあります。私達の生活環境を考えるにあたり、多くのデザインに係る人たちの考え方を知り、デザインが私達の生活に少しでも役に立つ一つのツールであればと考えます
その土地の文化を理解する一つ的手段としてデザインの今を学び、その土地の文化を学ぶ重要性を考察します。今回は“デザインの言葉の意味”を考えます。
現代の文化として築かれる“日本のデザイン”はどのような“環境”で息づいて行くのかを検証します。

◆講演のテーマ

現代における“デザインの定義”

広義にデザインと使うか？ 狭義に考えるか？ “デザイン“が市場にどのように伝わっているか？ などを検証する為にあえて大きなテーマにトライします。

◆各デザイナーによる“デザインの持つ役割（機能）”の考え方。

”デザイン“という言葉が氾濫する今日において、各ジャンルからの視点で活動しているか？或いは今後の”デザイン“の有るべき役割を検証する。

◆カンファレンス進行イメージ

デザイナーの仕事内容をパワーポイントなどによるヴィジュアルを使っの講演。

◆パネルディスカッションの進行イメージ

MC：DNAの事務局長 原木繁利

テーマ：デザインの持つ意味とその役割は？

デザインの役割や公共性・社会性を各ジャンルでどう捉えて活動しているか？

デザイン展覧会の役割は？

・聴講料・・・JDAの関係者は事前にお名前を原木までお届けください。

ご招待枠に明記しますので。

500円/レクチャー（別途懇親会費） 1,000円/日（懇親会参加費含む）

（インターネットにて事前予約。当日入場可。会場入口にて受付。）

収容数： 各講義 80名までとします。

受付窓口：「デザインの心」レクチャー 実行委員会

事務局 原木繁利

東京都港区南青山5-6-4-403 デザインニッポンの会内

電話：03-5774-0456

haraki@designnippon.com